allcinema

花吹雪御存じ七人男(1954)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 91分

初公開日 1954/03/24

【解説】

旗一平の原作を「或る女」の八住利雄が脚色し「花祭底抜け千一夜」の斎藤寅次郎が監督した、時代 考証を無視した何でもありなコメディ時代劇。花菱アチャコや伴淳三郎などバラエティ豊かなキャスト が顔をそろえている。

飲み屋〈かっぱ〉に勤める男の娘であるお菊は、あぶな絵を売って生計を補う父に好きな絵を描いてほしいと、一生懸命に働いている。店には長屋に住む法界坊、蝙蝠安、鋳かけ松、小猿七之助、髪結新三、岩井寿美之丞と与三郎が毎晩のように飲みに来ていた。「経済安全会」なる団体を組織して人々から金を巻き上げている兵蔵は、長屋を買い取ってその一帯を赤線地帯にしようと計画。居酒屋で働くお富は武家の息子で流れ者の与三郎と結ばれるが、二人は借金が原因で兵蔵に捕まってしまう。

【クレジット】

監督 斎藤寅次郎

原作 旗一平

脚本 八住利雄

撮影 服部幹夫

出演 花菱アチャコ

伴淳三郎

川田晴久

堺駿二

中村錦之助